

戸田建設グループ「気候非常事態宣言」

IPCC第6次評価報告書は、「人間の影響が大気、海洋及び陸域を温暖化させてきたことには疑う余地がない」ことを指摘しました。

現実に我が国においても、豪雨等が激甚化しており、私たちの生命や経済への影響が大きくなってきています。放置すればさらに影響が拡大するのは明らかです。パリ協定が示すように、産業革命前と比べて平均気温の上昇を1.5℃に抑えるためには、温室効果ガス排出を実質ゼロにするカーボンニュートラルの実現を急がなければなりません。

戸田建設グループは、地球温暖化に起因する気候変動に大きな危機感を持ち、気候変動の緩和と適応を更に推進するため、気候非常事態を宣言し、下記に示す項目を実行します。また、私たちの活動を広く社会に発信するとともに、ステークホルダーとの対話をさらに活発に行っていきます。

IPCC：国連気候変動に関する政府間パネル

1. サプライチェーンを含む事業活動において、2050年までにカーボンニュートラルを目指します。
2. ZEB・省エネ建物の建設やエネルギーマネジメントの高度化を推進します。
3. 浮体式洋上風力発電所等の建設を通じて、再生可能エネルギー電源の拡大を推進します。
4. グリーンインフラ等の拡大を通じて、生物多様性の保全、森林整備・有効活用を推進します。

上記項目実現に向け、新技術開発への投資を継続します。

5. 個人が高い意識を持ち、行動し、2050年とその先に向けてより良い未来に貢献します。

宣言日 2022年1月28日